

建築デザイン科

建築デザイン科のめざすところ

私たちの日常生活で、衣・食・住は欠くことのできないものです。この中の「住」に相当するのが建築です。本校建築科では、住宅や商店など色々な種類の建築や、木造や鉄骨など色々な構造の建築を造るための知識・技術を習得し、建築のあらゆる分野で活躍できる『実践的建築技術者の育成』をめざします。

実践的建築技術者とは、建築デザイナー・建築工事現場監督・専門技能職（大工・型枠大工・鉄筋工・左官工等）等のことです。どの様な技術者でも目指す事が出来る様に、様々な体験的な実習や製図などを通して専門知識を身に付けます。また、授業では他校では類を見ない特色ある実習や、最先端加工機械を導入した実習で、より良い建築技術者の育成を目指します。



コース選択

工業スペシャリスト

建築デザイナー・建築工事現場監督等で活躍できる技術職系の内容と大工・左官・鉄筋工等で活躍できる技能職系の内容を考えた様々な実習を通して、実践的建築技術者を目指すコースです。

大学進学

基礎学力だけでなく、国公立大学への挑戦をも視野に入れて推薦入学で合格できる学力の習得を目指したコースです。



卒業後の進路

- 技術系 : 建築施工会社 建築設計事務所 住宅会社 設備会社 等
- 技能系 : 専門技能職（大工、型枠大工、左官、鉄筋工、とび職 等）
- 官公庁 : 国家公務員、地方公務員 等
- 進学 : 大学、専門学校



取得できる資格

在学中

危険物取扱者（丙種・乙種）、2～4級CAD検定、2級建築施工管理技士、建設業経理事務士4級、測量士補、住環境福祉コーディネータ、計算技術検定、情報技術検定、建築製図技能検定、2級及び3級建築大工技能士、3級鉄筋施工技能士、愛知県職業教育技術顕彰 等

卒業後

木造建築士、二級建築士、一級建築士、二級建築施工管理技士、一級施工管理技士、宅地建物取引主任者、土地家屋調査士、不動産鑑定士、測量士、各種作業主任者 等

建築デザイン科の主な行事

現場見学 等

各学年 マンション建設現場、名古屋駅周辺の超高層ビル 等

競技大会参加


県工研総合競技大会 木材加工 第3位・佳作
 全国高等学校インテリアデザイン展 理事長賞
 岐阜女子大学主催コンペ 優秀賞
 日本工業大学主催コンペ 奨励賞
 東日本建築教育研究会主催コンペ 銅賞
 愛知県建設業協会主催作文 優秀賞 * 令和元年度実績



学習内容

学習の形態は、1時間単位の座学と2～3時間単位の実習や製図に大きく分かれます。

座 学			
学年	専門科目名	コース	学 習 内 容
2年	建築計画	必修	建築内外の空間の環境、木構造の住宅や鉄筋コンクリート構造の集合住宅のプランニング、デザイン、等を学習します。
	建築構造Ⅰ	必修	木構造の材料・骨組み・仕上げ等について学習します。特に将来の2級建築士受験の為に住宅の基礎、骨組みについて考え、設計します。
	建築構造Ⅱ	スペシャリスト	鉄筋コンクリート構造の材料・骨組み・仕上げ等について学習します。
	建築構造設計	必修	建築物の安全性を力学的に確認する基礎を学習します。
3年	建築施工Ⅰ	必修	建築物を工事現場で建設するときの流れや、その手法を学習します。
	建築施工Ⅱ	スペシャリスト	建築施工管理技士として必要な知識を総合的に学習します。
	建築構造Ⅲ	スペシャリスト	鋼構造やその他の構造の材料・骨組み・仕上げ等について学習します。
	建築法規	必修	建築基準法、都市計画法、建築士法、建設業法の基礎を学習します。

実 習 ・ 製 図			
学年	専門科目名	コース	学 習 内 容
2年	実習Ⅰ	必修	木工・CAD・木造建方実習等を行います。   
	実習Ⅱ	スペシャリスト	3級建築大工技能士実技問題の製作・鉄筋組立・型枠組立・溶接・工事測設・図面表現（木造）実習等を行います。   
	製 図	必修	木造建築物の図面について、手書きで演習を行います。
3年	実習Ⅰ	必修	木工・鉄骨建方・足場組立・コンピュータ・図面表現（鉄筋コンクリート構造）実習等を行います。   
	実習Ⅱ	スペシャリスト	材料実験・木工・鉄骨仕口模型・3DCAD・図面表現（鋼構造）実習等を行います。   
	製 図	必修	鉄筋コンクリート建築物の図面について、手書きで演習を行います。